

# 光星 最終盤及ばず敗退

男子  
2回戦

## 全国高校バスケット

第76回全国高校バスケットボール選手権(ウインターカップ)第3日は25日、男子2回戦と女子3回戦の計24試合が行われた。青森

県代表で出場している男子の八学光星は京都精華学園(京都)と対戦。名門・洛南を破り初出場した新進気鋭の京都第2代表と一進一退の攻防を繰り広げ、5点リードで前半終了。同点で

迎えた第4クォーターは中盤まで1点を争う大熱戦を演じたが、最終盤でわずかにリードされ、65-73で敗れた。この日までに県勢の男女とも敗退が決まった。8強が出そろった。

同日は男子のシード校が登場し、2連覇を目指す開志国際(新潟)や高校総体王者の日本航空(山梨)などが勝ち上がった。女子は

第4日の26日は、男子3回戦と女子準々決勝の計12試合が行われる。大会は29日まで。決勝は女子が28日、男子が29日に行われる。

新愛媛	112	101	広島皆実
日本航空(山梨)	98	78	高岡第一(富山)
尽誠学園(香川)	96	84	和歌山南陵

土浦日大(茨城)	72	63	鳥取城北
美濃加茂(岐阜)	88	75	正智深谷(埼玉)
育英(兵庫)	71	65	別府清雲(大分)
福岡大濠	71	52	福島東稜
東海大諏訪(長野)	110	79	桐光学園(神奈川)
福岡第一	74	62	北陸学院(石川)
東山(京都)	82	74	桜丘(愛知)

帝京安積(福島)	85	83	岡山商大付
羽黒(山形)	83	76	明徳義塾(高知)
開志国際(新潟)	97	35	四日市西リ(三重)
八王子学園(東京)	98	82	宇都宮工(栃木)
藤枝明誠(静岡)	87	47	埼玉栄
▽女子3回戦			
東海大福岡	80	59	鶴岡山(福井)
大阪薫英女学院(北海道)	95	42	東海大諏訪(長野)
札幌山の手(北海道)	94	79	足羽(福井)
千葉経大付	74	64	土浦日大(茨城)
京都精華学園(宮城)	95	67	下妻(茨城)
聖和学園(宮城)	58	55	広島皆実(山梨)
岐阜女	59	52	日本航空(山梨)
桜花学園(愛知)	106	63	京都西洋

▽男子2回戦

京都精華学園(京都) 73

23151817

15102812

65

八学光星(青森)

## 焦点 「歴代最強」夢ついでえる

八学光星は今大会注目の京都精華学園と互角以上に渡り合ったが、最終盤に離

た。光星がメインコートに行けることは全国に示せたと思ふ」と上山琉生主将。

負の行方はまだ分からない。ところが、直後の相手の攻撃。スクリーンにうまく対応できず、痛恨の3点シュートを被弾。「コミュニケーションミスだった(上山主将)。その後はファウルゲームに持ち込んだが万事休す。8強以上が立てるメインコートへの夢はついでた。

歴代最強ともいわれた布陣で全国2勝、その先を指した戦いは終わった。目標に届かなかつたが、佐々木彰彦コーチは「持てる力を発揮して最後まで戦ってくれて誇りに思つた」と涙ながらに選手をねぎらつた。(磯野雄太郎)



【男子2回戦・京都精華学園(京都)―八学光星】第4クォーター、八学光星は成田倅紳(右)が3点シュートを決め、65―67とする。東京体育館

されて初の16強入りを逃した。「全員が最後まで勝つてほしい」と選手たちは話していた。2回を超え、留学生選手に對し、2人掛かりで守るダブルチームを常に仕掛けた八学光星。夏から積み重ねた練習の成果を発揮し、リバウンドも抑えていた。攻めでは、チーム最多16得点の成田倅紳が「スピードはこちらが上、とポイントに攻めた」と話すように、守備から切り替えの速い攻撃で得点を重ね、5点リードして前半を終えた。

同点で迎えた勝負の第4クォーター。何度もリードを奪い合つたが、残り3分を切りわずかに離される。5点を追う残り39秒、成田

歴代最強ともいわれた布陣で全国2勝、その先を指した戦いは終わった。目標に届かなかつたが、佐々木彰彦コーチは「持てる力を発揮して最後まで戦ってくれて誇りに思つた」と涙ながらに選手をねぎらつた。(磯野雄太郎)